

ダリアの日持ちと観賞価値を向上させるには？

～後処理のススメ～

ダリアは日持ちが悪い品目と思われがちですが、これまで生産者側で前処理剤の使用や段ボール箱の工夫等により日持ち性の向上に努めてきました。しかし、生産者側だけでなく、小売や消費者側で「後処理」を行うことで、さらなる日持ちと観賞価値の向上が得られましたので、ご紹介します。

【試験方法】

- 材 料 11月15日に収穫したダリア「アジタート」
- 使用した水揚げ剤 クリザール社ブルボサス（標準仕様 10g/1L）
- 前処理 収穫から11月17日まで水揚げ剤で処理（輸送期間を想定）
- 後処理 11月17日に切り戻し後、以下の後処理を実施（小売店での管理を想定）
 - ①水のみ ②水揚げ剤のみ ③水揚げ剤＋砂糖（20g/1L）



試験の状況を
動画で公開中!!
アクセス
してみてください♪



花の日持ち・色あせ程度の違い



液の残存量と濁りの違い



左から「水」、「水揚げ剤」、「水揚げ剤＋砂糖」の順

※品種・季節によって効果は異なります。品種によっては加糖による葉やけが生じる場合があります。
※BA剤（ミラクルミスト f f、フィニッシングタッチ等）を花に散布すると、日持ちは更に向上します。

【作成】JAみなみ筑後 ダリア・リキュウソウ研究会